

## お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや臨床検体を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

### 【研究名】

乳房全切除術＋腋窩リンパ節郭清時の使用デバイスの違いによる漿液腫発生頻度を含めた術後合併症の比較

【研究機関】愛媛大学医学部医学科

【研究責任者】肝胆膵・乳腺外科学 講師 亀井 義明

### 【目的・意義】

腋窩リンパ節転移陽性例における乳癌根治手術は、乳房全切除術＋腋窩郭清術(Bt+Ax)が標準的な手術の方法の一つです。漿液腫は術後創部皮下に漿液が貯留した状態であり、Bt+Ax 後の最も一般的な術後合併症の一つです。漿液腫の発生により患者様の通院回数が増加するなど、不利益となることがあります。当院では従来、腋窩郭清時には加熱メスを使用しておりましたが、数年前よりエネルギーデバイスを使用しております。そこで今回、当院で Bt+Ax を施行した患者様を対象としてデバイス間での漿液腫等の術後合併症の発生の頻度を比較検討することといたしました。

### 【研究方法】

対象：当院で 2020 年 3 月から 2024 年 4 月に Bt+Ax を行った患者様。

方法：上記の対象患者様を加熱メス使用群とエネルギーデバイス使用群に分け、電子カルテから拾い上げた情報をもとに、漿液腫等の術後合併症の頻度および患者背景について検討する予定です。

### 【実施期間】

愛媛大学医学部附属病院長許可日～2029 年 3 月 31 日

### 【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含

まれません。

【情報管理責任者】 肝胆膵・乳腺外科学 講師 亀井 義明

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部医学科 肝胆膵・乳腺外科学 亀井 義明

〒791-0295 愛媛県東温市志津川

電話番号：089-960-5327